

2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社リブセンス 上場取引所 東
 コード番号 6054 URL <https://www.livesense.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員 (氏名) 村上 太一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 桂 大介 (TEL) 03-6683-0082
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	981	△37.8	△51	—	△48	—	△53	—
2025年12月期第1四半期	1,577	0.6	△100	—	△60	—	△89	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △50百万円 (—%) 2025年12月期第1四半期 △84百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△1.93	—
2025年12月期第1四半期	△3.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	4,586	4,159	89.8
2025年12月期	4,733	4,210	88.1

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 4,120百万円 2025年12月期 4,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,300	△21.6	△200	—	△200	—	△210	—	△7.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 2026年12月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難なため、第2四半期（累計）の業績予想のみを開示しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期1Q	28,160,000株	2025年12月期	28,160,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	597,020株	2025年12月期	595,620株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期1Q	27,563,854株	2025年12月期1Q	27,519,080株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・ 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成していますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・ 決算補足説明資料の入手方法

決算補足説明資料は、本決算短信と同時に開示し、当社ウェブサイト（URL <https://www.livesense.co.jp/ir/>）にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[当期の業績に関する状況]

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日～2026年3月31日)の連結業績は、次のとおりです。なお、原則として業績の金額については累計期間、比較については前年同期比で記載しています。

また、当社グループの報告セグメントは、従来「インターネットメディア事業」の単一セグメントとしていましたが、中期経営計画において、現在の事業領域である人材・不動産領域の強化・拡張を推進する方針となったこと、インターネットメディア以外の事業の重要性が高まってきたことから、当第1四半期連結累計期間より「人材サービス」「不動産サービス」のふたつに変更しました。前年同期比較については、変更後のセグメント区分に組み替えて比較しています。

(単位：千円、%)

	2025年12月期 第1四半期	2026年12月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	1,577,827	981,625	△596,202	△37.8
人材サービス	1,300,497	933,149	△367,347	△28.2
不動産サービス	277,330	48,475	△228,855	△82.5
売上原価、販売費及び一般管理費	1,677,864	1,032,993	△644,871	△38.4
広告宣伝費	499,172	201,457	△297,714	△59.6
人件費	530,973	511,140	△19,833	△3.7
調整後EBITDA	△93,951	△49,152	+44,798	-
営業利益	△100,036	△51,368	+48,668	-
人材サービス	154,771	219,001	+64,229	+41.5
不動産サービス	18,137	△8,712	△26,849	-
経常利益	△60,183	△48,626	+11,557	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△89,474	△53,288	+36,185	-

※調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用+M&A関連費用

※費用の内訳は主要な項目のみを記載しています。営業利益の内訳は調整額(全社費用)を含まないセグメント営業利益のみを記載しています。

○売上高

アルバイト求人サイト「マッハバイト」において、収益性の高い案件に集中するよう事業方針を転換し、収益性の低い案件の条件変更や取引の縮小を進めたこと、不動産情報サービス「IESHIL(以下、「イエシル」)」において買取再販事業の決済が発生しなかったことから、減収となりました。

主要事業の売上高は下記の通りです。

マッハバイト : 450,289千円(前年同期比△49.8%)

転職会議 : 318,184千円(前年同期比+15.3%)

転職ドラフト : 162,801千円(前年同期比+29.2%)

○売上原価、販売費及び一般管理費

「マッハバイト」における売上の減少と収益性を重視した運用方針への転換により、広告宣伝費が減少しました。

また、「イエシル」において買取再販事業の決済が発生しなかったことから、不動産売上原価が減少しました。

○調整後EBITDA/営業利益

転職口コミサイト「転職会議」及びITエンジニア向け転職サービス「転職ドラフト」が増収したことなどから、赤字が縮小しました。

○経常利益

2025年12月期中間連結会計期間まで計上していた事業譲渡に伴うライセンス収入がなくなったことから、営業外収益が減少しました。

[当期の方針に関する状況]

当期方針：中期経営計画を推進しつつ、収益性の改善による四半期黒字を実現する

○中期経営計画の推進

「転職会議」においては口コミを基にしたQ&A、「転職ドラフト」においてはレジュメのリアルタイムフィードバックなど、AIと各事業の資産を掛け合わせた機能やコンテンツの拡充が進捗しました。

なお、「マッハバイト」の事業方針の変更により、中期経営計画の最終年度である2027年度の売上高は目標を下回る見込みです。

○収益性の改善

「マッハバイト」において、収益性の改善に向けた取組を推進しました。当第1四半期連結累計期間では収益性の低い案件の条件変更や取引縮小が完了するなど、取組が順調に進捗しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,586,581千円となり、前連結会計年度末に比べ146,981千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少166,504千円、売掛金の増加11,881千円及び販売用不動産の増加22,110千円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、427,221千円となり、前連結会計年度末に比べ96,340千円減少いたしました。これは主に、未払金の減少58,987千円及び賞与引当金の減少44,600千円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は4,159,360千円となり、前連結会計年度末に比べ50,640千円減少いたしました。これは、利益剰余金の減少53,288千円及びその他有価証券評価差額金の増加763千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想は、2026年2月13日に公表した内容から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,639,547	3,473,042
売掛金	469,643	481,525
販売用不動産	391,789	413,900
その他	137,765	127,584
貸倒引当金	△137	△139
流動資産合計	4,638,608	4,495,913
固定資産		
有形固定資産	232	203
無形固定資産	5,189	4,732
投資その他の資産		
その他	91,196	87,181
貸倒引当金	△1,664	△1,449
投資その他の資産合計	89,531	85,731
固定資産合計	94,954	90,667
資産合計	4,733,562	4,586,581
負債の部		
流動負債		
未払金	271,789	212,801
未払法人税等	8,904	3,888
賞与引当金	94,761	50,160
その他	137,430	149,343
流動負債合計	512,885	416,193
固定負債		
資産除去債務	4,097	4,097
繰延税金負債	6,579	6,930
固定負債合計	10,676	11,027
負債合計	523,561	427,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	237,219	237,219
資本剰余金	225,668	225,668
利益剰余金	3,859,839	3,806,550
自己株式	△164,469	△164,469
株主資本合計	4,158,258	4,104,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,294	15,057
その他の包括利益累計額合計	14,294	15,057
非支配株主持分	37,448	39,332
純資産合計	4,210,000	4,159,360
負債純資産合計	4,733,562	4,586,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,577,827	981,625
売上原価	467,959	165,312
売上総利益	1,109,868	816,313
販売費及び一般管理費	1,209,905	867,681
営業損失(△)	△100,036	△51,368
営業外収益		
受取利息	1,940	3,261
株式譲渡に伴うライセンス収入	38,304	—
その他	450	156
営業外収益合計	40,695	3,418
営業外費用		
支払利息	30	15
投資事業組合運用損	811	660
営業外費用合計	841	676
経常損失(△)	△60,183	△48,626
税金等調整前四半期純損失(△)	△60,183	△48,626
法人税、住民税及び事業税	610	811
法人税等調整額	21,045	1,966
法人税等合計	21,655	2,778
四半期純損失(△)	△81,839	△51,404
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,634	1,884
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△89,474	△53,288

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純損失(△)	△81,839	△51,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,389	763
その他の包括利益合計	△2,389	763
四半期包括利益	△84,228	△50,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,863	△52,525
非支配株主に係る四半期包括利益	7,634	1,884

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	583千円	486千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	人材サービス	不動産サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,300,497	277,330	1,577,827	—	1,577,827
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,300,497	277,330	1,577,827	—	1,577,827
セグメント利益又は損失(△)	154,771	18,137	172,909	△272,945	△100,036

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	人材サービス	不動産サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	933,149	48,475	981,625	—	981,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	933,149	48,475	981,625	—	981,625
セグメント利益又は損失(△)	219,001	△8,712	210,289	△261,658	△51,368

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループはこれまでインターネットメディア事業のみの単一セグメントであったことから、セグメント情報の開示を省略しておりましたが、中期経営計画において、現在の事業領域である人材・不動産領域の強化・拡張を推進する方針となったこと、およびインターネットメディア以外の事業の重要性が高まってきたことから、当第1四半期連結累計期間より「人材サービス」および「不動産サービス」に区分して開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。